



いつまでも、入道雲が居座って
ウロコ雲の出番がなく、真夏日が続いた。
それでも、子ども達は園庭を走り回り
頭から水をかぶったように、
汗びっしょり
プールを片付けられず、
毎日、水遊びをして汗を流した。

暑さ、寒さも彼岸までというが、
この頃になると、急に涼しくなって
運動会ごっこで、更に盛り上がる。
年齢は関係なしに、全てのおどりを、
全園児が踊る。
リレーも、全園児が
エンドレスでぐるぐる走り続ける。

10月になると、
疲れを知らない子ども達の上に、
青空が高く広がる。



行事予定表		
5	月	給食費引き落とし日(3歳児以上) 読み聞かせ(5歳児)
6	火	ピヨピヨひろば(予約5組)
8	木	カレーの日
9	金	リトミック
14	水	交通安全教室(4・5歳児)
21	水	筑波登山(5歳児)
〃	〃	おべんとうデー
23	金	街探検(牛久2小)で訪問
27	火	巡回相談
29	木	誕生会
30	金	避難訓練(通報訓練)

「おはようございます」「さようなら」

・毎朝、気持ちの良い挨拶から始まると、一日が素敵な日になりそうですね。子ども達は勿論、保護者の方、私たち職員、みんなで「挨拶することが当たり前」を習慣にしていきたいと思います！

●読み聞かせ(5日)

・指導員の宮本先生と栗山先生に、毎月お話を聞かせて頂いていますが、子ども達はその時間が大好きです。是非、お子さんと一緒に絵本を選び、楽しんで下さいね。

●カレーの日(8日)

・今月も園内がカレーの美味しい匂いに包まれます。ぞうグループは、自分の役目を責任感を持って果たすことが目標です。

●交通安全教室(14日)

・きりんグループ(4歳児)は、今年度初めての交通安全教室への参加になります。正しい交通ルールはご家庭でも知らせていきましょう。

●筑波山登山(21日)

・ぞうグループ(5歳児)の子ども達が、筑波山のつじが丘駐車場から、自分の力で登ります。みんなで山頂の美味しい空気をたくさん味わってきます。

●街探検(23日)

・牛久二小の2年生が生活科の「まちたんけん」の一つとして園に来園しますが、コロナウイルス予防から、今年は玄関前で質問を受けます。

●誕生会(29日)

・2クラス毎に「ハロウィン」にちなんだお話を楽しみます。特別な一日になりますように。

●避難訓練(30日)

・先月雨天で未実施の為、園内での通報訓練を行います。地震から火事になった場合を想定して、駐車場まで避難します。

☆おねがい

・廊下に「はしらないX」の表示があります。本日は、表示をすることにも抵抗がありません。

した。子ども達には否定語ではなく肯定的に「歩こうね」と伝えていきたいと思っ

★お知らせ

※運動会は11月7日(土)

9時～11時30分予定

場所・牛久運動公園メインアリーナ
3歳児以上で実施しますので、土曜保育は行いません。詳細は後日お知らせします。

コロナ子ども達



コロナのお陰で、子ども達の生活を見直すきっかけになった。自然の中で遊ぶことが多くなり、自然に目を向け、いろいろな体験ができ、知識が増えた。外遊びが多くなり体力がついた。大人の関わりがなくなると、幼稚園の行事も子ども達を中心になった。▼ほんの一例だが、夏祭りは、お部屋さんごっこの延長で行った。一人400円を持って、お買い物やゲームをする。先生たちがサポートして、年長児が店を運営する。客の呼び込みから、自作の立派なレジでしっかり計算し、お金の管理もする。中には、ヨーヨーや、ゲームでお金を使いすぎて、お昼に、焼きソバ、ソーセイジを買えなくなってしまう子や、お金を払いたくない、タダでソーセイジが欲しいと、お金をぎゅつと握りしめて頑張る年少児もいた。幼児教育の基本として、イメージネーション(想像力・計画性・予測)自己管理能力、自己抑制を育てることが重要である。自分の行動の結果を予測し、考え、自分で判断・決定し、その判断に従って行動し、その行動の結果は、決して人のせいせず、自分で責任を負って、もう一度、次はもっとうまくやろうと考えることが、経験知となる。

自分の行動の結果をイメージして、自己管理をしっかりとできる子に育てることである。罪を犯す少年は、これができない。幼児期に育てられていない。何か欲しいとなると、その行動の結果がどうなるか予測せず、欲しいから奪う(強盗)・・・短絡的でその結果は考えない。最悪の場合、福岡の事件のように、女子トイレに侵入して人を殺して奪おうとする。▼お昼に焼きソバを買うお金がなくなってしまう子は、まだ、計画性・予測力も育っていないかった。一つで十分なヨーヨーを、5つも持っていた。これからは、予測・計画性を持ってやらなければならないという貴重な苦い体験である。お金を握りしめ、レジの前で立ち尽くしていた子は、後から来た子が「ソーセイジ頂戴」「二本で50円です」とのやり取りをじつと見ていて、売買、お金と物との交換を理解し、「ソーセイジ頂戴」とお金を払っていた。こんな時、大人が口出ししない方が、子ども達の体験にとって、ずっといいように思う。運動会についても、今までと違った姿が見られた。障害物競争では、真剣に競い合っている子もいれば、いかにも楽し気に、山をゆっくり滑り降りる子もいて、ビリになってもニコニコと楽しそうに、もつとやりたいと言う。リレーでも、風を切って走ること自体を楽しんでいるようである。曲が流れると、年齢に関わらず、全園児が踊りだす。いつもとは違う運動会の姿である。▼子どもは競わせなくても、競うことを楽しむ。そして、自分で自己発揮、自己充実することがもつと大切である。行事も、日々の生活でも、今、この子たちに何を育てたいか、どう育てて欲しいのか、目的・ねらいをしっかりと持って、保育していかねければならない。

